

第
241
号

2019.2月

社長のつぶやき

この寒さ冷たさの中、6年向。
半袖半ズボンで登校している
思ふ。寒さもあと少し、がんばれ。

ありがとう！

株式会社 山一

(本社) 箕面市西区田崎町380

(本店営業部) 箕面市西区田崎2-2-6-1F

削りだし販売47年
お客様TEL
(096)322-7788
 ➡ 「1月はカロリーを摂りすぎた。」

2月は押さえて押さえて…♪」

恵方巻き 売れ残りやめて

農林水産省は11日、2月の節分に食べる恵方巻きの商戦が活発になるのを前に、需要に見合った販売をするようコンビニやスーパーの業界団体に文書で要請した。売れ残った恵方巻きが大量に捨てられることが問題となっているた



で販売している恵方巻き

め。恵方巻きの廃棄でこうした要請をするのは初めてという。

恵方巻きは刺し身などを使っていていることから、農水省担当者は「日持ちせず売れ残る恐れがある」と指摘。「貴重な食料資源を有効利用してほしい」と話した。

(2019.1.12付 箕面新聞)

正月には御節に雑煮、仕事始めに花びら餅、6日に息子が冬休みの宿題で作ったイケゴトケ、七草粥で胃腸整えつつも、鏡開きでせんざい、家族の誕生日にケーキ、後半は訪問客と一緒に会食、新年会出席…と、12月の忙しさでちょっと減った体重が軽く元に戻り、あわやオーバーを撮ってしまった反省の1ヵ月でした。

カロリー、塩分、糖分、脂質を控えたいのですが、これが、なかなかですね～なんて言っている間に人間ドックまであと半月。やばい、やばい。1日の摂取カロリーを1800kcal、女性の塩分摂取量7gまで、食事以外の糖分摂取量25gまで、運動毎日30分程度してみよう、と思う。運動を離脱するには、箕面城マラソンに応募して自分を追い込まないといかん? 今年も高校時代の友人が当選し、兵庫から参加しますが、一緒に走る! う～～～ん…やばい! 息子と息子のおともだちと応援がんばる!

↑ 2月3日節分で食べる「恵方巻き」の売れ残り廃棄について。農林水産省が苦言を呈しましたね。恵方巻きは関西の文化ですが、1989年コンビニが「恵方巻き」と名付けて全国的に売り出しここにいたっています。関西で大学生をしていい環境、CMで「今年の方角は南南西!」とせ言ってます。吉方位を伺う、黙って巻き寿司にひぶりつく…昔はこんなことしてなかったよと地元の方におっしゃってました。正直、立ってる姿が見えてならないで、行儀悪く食べ方だなあと思ってたくらい。昨年末クリスマスが終わってすぐから恵方巻きののぼり旗が立ち連和感だったのを覚えてます。命をいただき、命を育んでくれる食材を全て食べることで禮儀だと教えられました。だから食べ過ぎてしまうので、そのようになってしまうので今年も厳しく鬼に向かって豆をまき、厳しく福に向かって豆をまき、年の数だけ豆を食べます。でも年の数の豆を食べるのが年々苦しくなってきたアラフィフ(55)なのでした。

今さらきつい
伝承!
おだし放送

11:00～13:00まで 6名程度

3/3(月)・23(日) キムチ鍋(¥1200)

3/5(火)・16(土) 醤豆腐(¥1000)

3/28(木) 手作りサヨ教室(満員
ためキャンセル待ち販売中)

①さば缶
ブーム
②輸出
③時化(けい)
元々いちじく
どうすることも
できなかつ。

あっ!
でも、節の
魚が
なくなって
しまう…。

やはり「さば缶」ブーム
の余波…いえ荒波がきた!

2013年のテレビ番組で「さば缶を食べるとやせる」と紹介されたことがブームのきっかけのようです。2017年からは健康によいといふことで中高年層やターゲットに向け、健康番組などで頻繁に取り上げられてます。…やばいなー。ブーム、早く終わらんないなー。とバ配していたところ、どうどう削り節用の小サイズまで缶詰へ売られてしまう現状に。さらにいわし漁もしてて、船までもいてばら獲りに行く始末。時代が多く出漁できないこともあり、節用いわしの市場は1月で2回だけ(牛深港)のこと。まいられ、うろめかれ、さは、あじ。今まで厳しかったけど